

新たな人のつながり生む民間交流、同窓会…活性化支えた独創性・歩みと歴史に評価

「写真甲子園」がふるさとイベント大賞で優秀賞

今年開催16回目を刻む全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」が「第13回ふるさとイベント大賞」の優秀賞を受賞しました。高校生チーム全国代表が毎年東川に集まって写真の腕前を競う、という大会の独創性、参加選手のOB、OGで作る同窓会活動など、年々広がっている人の交流の輪とその活動ぶりが評価されました。大会は今年から、最終決戦出場校が4校増えてますますデッドヒートする予感。さらに一歩成長し、全国から訪れる高校生選手が町中をにぎわそうです。



東京国際フォーラムで行われた表彰式(3月11日)

(財)地域活性化センター
①(東京)が主催して選定
②1年間に開かれた国内のイベントの中から

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



昨年大会で優勝した中部・東海ブロック代表、新潟県立柏崎常盤高の3人チーム

写真甲子園は、その中で「開催15回を重ね、全国のメディアに数多く取り上げられた結果、地域イメージ、大会知名度が飛躍的に向上した。高校生と町民の交流もホームステイなどでますます広がっている。選手による同窓会や写真展開催、婚姻届の提出、新婚旅行で再び訪れるOBもいるなど、その影



響力は大きい」などと評価されました。

3月11日、東京国際フォーラムで表彰式が行われ、松岡市郎町長が出席して北山孝雄審査委員長から表彰状を受けました。

昨年過去最多の全国252校からの作品応募があった写真甲子園は、今年から本戦大会出場校が4校増えて18校となる予定です。

本戦大会開催中に出場選手が宿泊するベース宿泊地は、キトウシ森林公園貸し別荘「ケビン」のほか、東神楽町森林公園貸し別荘棟が加わって2カ所に増え、これまで以上の熱戦が繰り広げられそうです。

今年の同賞は、大賞に月山志津温泉(山形県西川町)の「雪旅籠の灯り」、写真甲子園と同じ優秀賞に「成田太鼓祭」(千葉県成田市)、奨励賞に「奥地の海のかーにばる」(愛媛県西予市)、「TAGAWAコ

ールマイン・フェスティバル〜炭坑節まつり〜(福岡県田川市)、「椎葉平家まつり」(宮崎県椎葉村)、選考委員特別賞に「野毛大道芸」(神奈川県横浜市)が選ばれました。



選手たちに炊き出しボランティアをする町内のお母さんたち(農村環境改善センター)